

編集後記

◇10月号I G C事務局ニュース No.1 で予告したように、今月は特集号として、過去3回のI G Cのアウトラインと1992年の第29回I G Cの準備状況をまとめてみました。ご協力くださった皆様にお礼申しあげます。I G Cの準備状況は、I G C事務局ニュースとして、引き続きお知らせいたします。

◇地質ニュースでは、5年ほど前にアンケートを行って、読者の皆様からご意見ご要望を伺ったことがあります。その結果は編集の参考にさせていただいておりますが、まだまだ至らぬ点があり反省しております。今後とも、ご批判の程よろしくお願い申し上げます。ここでは、いただいたご意見の一部を紹介させていただきます。

○「読者の声」を反映させるコーナーも設けてみてはいかがでしょう(川上様,盛岡市)。<編>いざれ「読者の欄」も創りたいと思います。ご意見をお寄せください。

○どうして、(カンマ)がなくて妙な組体裁なのですか?(関田様,小金井市)。<編>11月号から変わりました。

○コピーした記事の整理に役立てるため、ページの余白に誌名・号・頁数・発行年月などを印刷してほしい(神田様,福岡市)。<編>1月号から変わります。

○最近(5年<前編>)外国の地質の紀行文的な紹介が多いように思います。もっと、我々の身近な地域の地

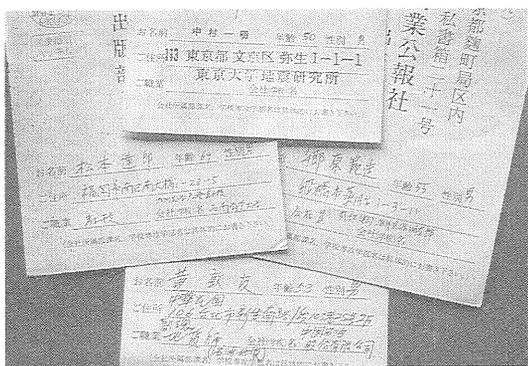
質紹介を多くしてほしいと思います(奥田様,八尾市)。
 ○お役所的な広報誌という形にならないように(松野様,柏市)。
 ○毎月充実した内容を盛るのは大変な仕事だと思いますが、有用かつ楽しい出版物ですので、今後も頑張って続けて下さい(鎌田様,長崎市)。

佐藤記

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字とし、句点(。)の次は1字あけて下さい。地質ニュースでは従来読点(,)を使っておりませんでした。今後は使用を認めず。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

地質ニュース編集委員会



地質ニュース編集委員会

委員長: 小川克郎
 副委員長: 鈴木尉元・佐藤興平
 幹事: 黒田和男・三村弘二
 委員: 三田直樹・岡村行信・尾上 亨・笹田政克・佐藤俊生・鈴木祐一郎・武居由之・山口 靖湯浅真人

事務局: 総務部業務課広報係
 〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所
 地質ニュース編集委員会
 事務局 Tel. 0298-54-3520
 Fax. 0298-54-3533

地質ニュース 第24号 1989年12月号
 定価 ¥ 650 千 実費
 発行 工業技術院地質調査所
 1989年12月1日 編集 林 久 雄
 発行人 株式会社 実業公報社
 発行所 東京都千代田区九段南4の2の12
 〒 102
 Tel. (03)265-0951 (代表)
 振替口座 東京1-32466
 麹町局私書箱第21号
 総発売元 株式会社 実業公報社

©1989 Geological Survey of Japan
 ●本誌は東京都中央区綏八重州ブックセンター本店に常備してあります。